

パンジー／ビオラ

別名	さんしきすみれ（三色堇）
植物分類	スミレ科スミレ属
園芸分類	秋まき1年草
原産	北ヨーロッパ
花言葉	思想



パンジーは学名ビオラ・トリコロールといい、ヨーロッパ各地に分布していますが、トリコロールの名のとおり、一花に三色の花色が認められたものが原種です。

ビオラはより原種に近く、花径5 cm以下の小形の系統で、ミニパンジーとも呼ばれています。

パンジーの名は、原種の花色と模様から人の顔が連想されやすく、あごを突き出したような形で咲いている姿が、考え込んでいる人のように見えるところから、フランス語のパンセ“考える”をとり、名づけられたものといわれています。

栽培特性・管理のポイント

< 定植 >

深植えは避けましょう。涼しい時期はよいのですが、暖かくなってくると根元にカビができ、枯葉が腐敗してきます。また、根腐れをおこしやすくなります。水はけと風通しのよいところに植えましょう。日当たりがよくて涼しい気候を好み、性質は強健です。

< 管理 >

毎日の花がら摘みが大切です。種をつけると株が弱るからです。咲き終わった花がらをこまめに摘み取ることで長期間美しい花が見られます。摘み取る「花がら」は、少し下を向き、閉じているものです。追肥はひと月に一度、ゆっくり効くタイプの化成肥料を施します。

また花壇では、株の広がりを見て不要な枝を間引き、風通しをよくしましょう。

成株では病害は比較的少ないですが、春に発生しやすいアブラムシに対して、早期にオルトラン粒剤を施すとよいでしょう。

水遣りは、土の表面が乾いたらたっぷりと与えますが、冬場夕方以降に水遣りすると夜間の冷え込みで土が凍ってしまうことがありますので、できれば午前中に与えましょう。